

「相模原市幼児教育・保育ガイドライン研修」

講師：岡 健 氏

令和元年6月6日（木）14:00～15:45

参加者 148人

アンケート 96枚

【感想・意見】

- ・学ぶことが多かった。勉強になりました。気づきがたくさんありました。(5)
- ・現場レベルで分かりやすく“保育の質”を考えることが出来た。(7)
- ・はじめは難しかったが、具体的な話が後半多く、分かりやすかった。聴きやすい。(13)
- ・あっという間の講義でした。有難うございました。良い時間でした。もう少し聞きたかったです。(5)
- ・最後の方は急ぎ足で終わってしまったので、もう少し時間があつたら良かったです。
- ・難しいところもありましたが、ガイドラインを良く読み込んで勉強したいと思いました。(4)
- ・今求められている保育についてはよくわかりましたが、反対にとっても難しいと感じました。
- ・心にすんなり入っていく研修でした。面白かったです。
- ・子どもの理解に基づいて改めて考える時間だったと思います。
- ・子どもの理解をして保育の計画を立てていく、援助をしていくということの大切さを感じた。
- ・分かりやすい講義が今後の運営のヒントになりました。
- ・園でやりたいことが少し見えた気がしました。
- ・今ちょうど悩んでいる部分のお話がありました。よかったです。
- ・『保育の質』を上げなさいと言われ続け、自分でも後輩を導くときに参考にしていきたいと思った。
- ・保育の質・現場の中での質、改めて見直したいと思います。
- ・専門性に気付く保育とは？また一つ一つ考えていきたい。
- ・専門性を高めなければいけないという理解が出来、そのために何をしなければいけないか課題になった。
- ・園での自分の立場ではどのような役割で何を求められているのか？もう一度自分の保育を見つめ直していこうと思いました。
- ・自分の保育への考え方や園での立ち位置等色々考えることが出来ました。
- ・岡先生の研修2度目です。とても楽しく、質の向上の為にもまた参加したい。
- ・岡先生のお話はいつもわかりやすく、又興味のあるもので楽しく講義を受けられます。
- ・ガイドラインやチェックシートを取り入れていきたいと思いました。(7)
- ・園内研修の大切さ、ガイドラインをみんなで確認して話し合う機会を持ちたいと思った。(4)
- ・園に持ち帰り、報告・実践していきたいと思った。みんなで共有したい。(7)
- ・園での価値観の共有や自己評価にしっかりつなげていきたいと思った。
- ・保育園内で保育の事や職員同士の理解の事も考えていきたいと思った。(2)
- ・自分が持っていることを周りに知らせる事、周りが感じていることに気づくことが大切。
- ・専門性を持ったキャリア別の人材を育てる事の大切さを痛感しました。
- ・園内の職員の関りなども参考になりました。
- ・若い職員を育てていく上で難しさを感じています。

- ・伝わらない・・・ではなく、どのように伝えるか、考えていきたいと思う。
- ・後輩に対してどう気付けていけば良いのかを私も考えていかなければと感じています。
- ・ガイドラインやチェックリストの使い方が良くわかりました。
- ・自己評価シート（チェックリスト）に年数や立場によって項目があって当たり前だが、その当たり前が行えていない現実がある為、検討をしていきたいと思いました。
- ・保育のPDCAサイクルの内容がわかりやすかったです。（5）
- ・自分の園でも取り入れていければ良いなと感じました。
- ・ガイドラインを園の中でどのように活用していくのかを考えます。（2）
- ・自分の中で改善しなければならない事が多いと感じた。
- ・ガイドライン・リーダーシップ・人を育てる、改めて考えさせられました。
- ・リーダー・ミドルリーダーの“育てる力”の研修をもっと受講したいと思った。
- ・ジョハリの窓の話、興味深い、もう少し聞いてみたかった。
- ・園の抱えている問題のヒントになりそうです。有難うございました。
- ・今園内で課題になっていることが再確認できました。
- ・保育士は頭で考え、子どもの為ですね。
- ・ガイドラインをどう読み取り、活用すべきか考えていく時間になりました。（3）
- ・行政や国の動向を注視していきたい
- ・ガイドラインの意味が理解できました。しかし、具体性になると現場で活かせるかわからない。
- ・他の地域のお話を聞きながら相模原がどうなっているのか知らない事も多くあった。
- ・保護者だけでなく、保育者だけでなく、地域と行政で子どもを守っていく・・・すごく素敵だと思いました。
- ・保護者向けのマンガ作りたいですね。
- ・チェックリストは幼稚園では10年くらい前に色々なものが作られましたが、今それをする人（園）はないと思います。なぜか役に立たなかったからです。この反省を踏まえて出てきたのが ECEQ（公開保育コーディネーター）です。
- ・10の姿に沿う子を育てようとガチガチな幼稚園にいたので目からウロコでした。今は新任昨年までリーダー、色々考えさせられました。
- ・岡先生の講義を繰り返し聴くうちに理解につながる。現場をよく知ったうえ（上？）でのお話なのでとても心に響いた。（2）
- ・自分の適性を知る（何ができて、何ができないか）そこから自身がどのように園の中で役割が担えるのか考えさせられた。
- ・これからの保育の方向性、社会との関わり、どのような子を育てていくか等参考になりました。
- ・保育士の人材育成をどのようにしたらよいかと思っていたので、ようやく自分がわからなかったことの原因に気づいた。是非スパークを自分のものにしていきたい。
- ・現在園の自己評価が課題となっているので、岡先生の話からイメージを持つことができた。
- ・ガイドラインの使い方、方向性についてわかった。4者との関わりも見えていた。
- ・ガイドラインを保護者はどのように活用して、何をすべきかわかると保護者支援として園で取り組めると思う。
- ・岡先生はガイドラインのことも国の動きも分かりすぎているからか少し分かりづらかった。結局これをどうしたらよいか？保育の質の向上のために、ここで活かし方から考えるということでしょうか・・・

【質問】

- ・資料にあった『高知県教育・保育の質向上ガイドライン説明会』は行政がいつ、どんな場で、誰を対象に行った説明会だったのでしょうか？

【今後の講座について】

- ・また岡先生のお話を聞きたいです。(3)
- ・チェックシートの参考例が欲しい
- ・現場で抱える問題を検討するような研修
- ・今井和子先生
- ・汐見先生の話が聞いてみたい